

5、咳喘息・アトピー咳嗽に対するトシル酸プラタストの有効性に関する検討

北 俊之¹⁾ 木部佳紀¹⁾ 丹保裕一¹⁾ 藤村政樹²⁾ 明 茂治²⁾
石浦嘉久³⁾ 小川晴彦³⁾ 西 耕一³⁾ 中尾眞二²⁾

(1) 国立病院機構 金沢医療センター 呼吸器科、 2) 金沢大学大学院 医学系研究科 細胞移植学呼吸器内科、 3) Kanazawa Asthma Research Group)

【目的】慢性咳嗽を呈する好酸球性気道炎症疾患群として、咳喘息 (CVA)、アトピー咳嗽 (AC) があり、その病態に Th2 反応の関与が示唆されている。CVA・AC に対する Th2 サイトカイン阻害薬トシル酸プラタストの有効性について検討した。【方法】CVA・AC の診断基準を満たす 39 名 (男性 9 名、女性 30 名、平均年齢 48 歳) を対象とした。気管支拡張薬を 1 週間投与した後、気管支拡張薬が有効の CVA 群 (19 名) と、気管支拡張薬が無効の AC 群 (20 名) に分けた。さらに、CVA 群・AC 群を各々 3 群に分け、トシル酸プラタスト、塩酸アゼラスチン、塩酸アンブロキシールを各々 2 週間投与し、咳点数とカプサイシン咳閾値の推移を検討した。【成績】CVA 群では、トシル酸プラタスト投与により咳点数は改善した。AC 群では、トシル酸プラタスト投与により咳点数は改善し、カプサイシン咳閾値は上昇した。【結論】トシル酸プラタストは、CVA や AC 患者において有用であることが示唆された。